

陽だまりカフェ

(参加者皆様のご意見をまとめました)

D グループ「担任の先生とコミュニケーションはとれていますか？」

～情報交換の場となる学級懇談会を充実させよう～

【担任の先生とコミュニケーションとっていますか？】

- ・参観日、行事では「必ず挨拶、会話を交わす。この一言がとても大切」なこと。
- ・参観の後、電話等では先生が忙しそうなので、連絡帳が気がねなくてよい。連絡帳で先生とまめにコミュニケーションをとっている。「連絡帳がある安心感」。
- ・欠席をしたとき、健康面、学校でのトラブル等、先生から電話をくれる。
- ・何か事件があった時に話すことが多い。トラブルが起きたとき密に話す機会があった。お父さんが入って無事解決できた。
- ・クラスが荒れていたため、PTAや保護者会以外、個別に相談や提案を数回した。クラスの課題を機に、担任の先生がかわり、子どもの様子を教えてもらえるようになった。
- ・SNSで繋がっているためまめにコミュニケーションをとっている。
- ・担任の先生の携帯番号を知っているため連絡をとっている。
- ・担任の先生からコミュニケーションを求められた。
- ・役員なので、教頭先生、事務局の先生と会う機会は多いが、担任の先生とは入学式・総会以来、話す機会あまりなく、懇談会等は母親任せだが、担任の先生に会った時には、『いつもありがとうございます』とお礼を言う。
- ・先生と会話をしたが、子どもの様子を全く把握してくれていなかったため、ショックで先生と距離を置くようになった。もっと子どものがんばり認めて欲しいな。

「学校の規模、一学級あたりの子どもの数によって先生との関わり方にもちがいがある」

- ・学級数が少ないと、全学年の先生ともコミュニケーションがとれ、先生と子ども、親との距離がとても近い。

「そもそもコミュニケーションは必要？」

- ・先生の人柄、どんな先生なのか、知るという意味でコミュニケーションは必要。
- ・話のネタがあれば会話しようと思うが少し敷居が高い気がして積極的にとはとらない。

「上手くいっている時はかえってコミュニケーションはとらない」

→先生と子どもの信頼関係ができていて、大切な事、必要な事が伝わっていれば大丈夫。

- ・トラブルがあった時誤解のないように対応してほしい。

「先生のスタンスで関わり方がちがってくる」

- ・先生から積極的にコミュニケーションの機会を計ってくれ、「何かあれば連絡ください」と言ってく

れる。

《普段からの関係作りが大切》親同士が仲良しだと、子どもたちもまとまり、仲がよい。

していくことも大事。・子どもの前で先生の悪口をいわない。

《先生を助けてあげることで、学級運営が上手くいく》。

・昔は先生を尊敬していたが、今は、先生の評価が先にたっしまい、お願いする気持ちが後になってしまっている気がする。

・先生への要求ありすぎ、先生にめちやくちや文句言う親もいる。←家族でコミュニケーションとれていれば、先生への要求へるかも。・先生の立場になって考えてみる。

・個々の対応で先生方の仕事も増えているのも現実。

・親とコミュニケーションとれない先生もいる。

・プレッシャー、心労等で休職する先生も多い。

・先生方の現状をまわりにもっと認知してもらう必要がある。

→子どものための《先生の働き方改革》。

《保護者懇談会》

・父親も参加したらどうか。

《地域連携、コミュニティースクール、ボランティアの会》

・保護者からもボランティア募る。

・賛同者も多く父親が参加することにより、先生ともコミュニケーションとれるのでは。

塩尻市HP教育のページにチャットポットというシステムある。

コミュニケーションツールとして人工知能の活用もよいのでは。

・親同士が仲良く【学級懇談会に参加していますか？】

・小学校では社会科見学、修学旅行など、行事の説明があるので話を聞きに行く。

・学級懇談会では、日頃の授業内容や、子ども達の様子。先生によっては子ども達の写真をスライド等で演出してくれる。欠席した場合も懇談会の内容が後から、お便りで発信されるのでありがたい。

・人が集まらないから情報源がすくない。懇談会に参加するメリットがない。

・中学生になると、部活の保護者会等中心で、先生対一保護者直なやりとりが多く、懇談会への参加はほとんどなし。連絡帳もなく、担任の先生と顔を合わせる機会が減る。

・家庭訪問は4月でなくて、夏休み前のほうが、コミュニケーションとれる。

◎学級懇談会にはなかなか参加できないが→《親父の会》を立ち上げ懇親会を開いた。

・パパ会を開き1年から6年、学年を超え仲良くなった